



結婚して3年たちますが、不妊のために悩んでいます。治療のために通院していますが、なかなか子どもができません。体外受精をすることも考えましたが、多額の費用がかかるため治療を受けることもできません。所得によって助成してくれる市もあると聞きます。津山市でも不妊治療に対する支援を考えていただきたいです。

また、小学6年まで医療費



が無料の市町村があります。厳しい財政状況とは思いますが、津山市でも子どもに優しい政策がとられるといいですね。(市内・女性)

体外受精や顕微授精(特定不妊治療)を受けた夫婦に対し、医療費の一部を助成する制度が県にあります。1回の治療について15万円まで助成され、1年度当たり2回を限度に通算5年間助成を受けることができます。助成対象者や所得制限など、詳しくは県ホームページ (<http://www.pref.okayama.jp/hoken/kenta/funin.html>) をご覧ください。

また、津山市では現在、小学校就学前の乳幼児を対象に医療費の無料化を行っています。県において無料化の対象を小学校卒業までに拡大することが予定されているため、津山市においても制度の充実に向けて検討を行っているところと見えています。

問い合わせ先 ことも企画課
☎ 32・7027

つやまっ子に贈る100冊の本

つやまっ子読書プランキャラクター「ぶっくちゃん」



皆さんから推薦していただいた「つやまっ子に贈る100冊の本」。これから毎月紹介していきます。また、市ホームページでも選定結果などを2月以降に発表しますね

心をつなぐ 言葉が見つかる



推薦者 寒竹 敏江さん(紫保井)

言葉には不思議な力があります。『きっと勇気がわいてくる魔法の言葉』は、ある養護教諭の「保健室にも置ける、子どもたちが元気になれるような本がほしい」との声から生まれた本です。

記録を更新しているイチロー選手を始めとした子どもたちのあこがれの人や偉人たちの言葉、ことわざや歌詞、ドラマのせりふなどから、子どもたちの生きる勇気や希望につながる言葉が紹介されています。

3冊で100の言葉がつづられ、その言葉は心に響いてきます。それらの言葉を読み、知ること、心を豊かにし、書く力や話す力の

もとになります。誰にでも悩んだり、迷ったりする時があります。そんな時、この本で紹介されている言葉を思い出し、子どもたちに勇気を持ってもらいたいですね。

また、子どもたちが自分の将来を考える時、思い返してもらいたい身近な言葉もたくさん載っています。この本をつやまっ子たちが読むことで、本の世界が広がり、多くの本を読むようになるきっかけになれば、うれしいですね。



中井俊巳 文 (汐文社)

「きっと勇気がわいてくる魔法の言葉」

きらめく津山人

住民の生命と財産を守りたい

津山圏域消防組合中央消防署 消防士長

桑名 千尋さん(河辺)



昨年4月に県北で初めて災害現場へ出勤する女性消防官が誕生しました。屈強な男性消防官とともに現場へ出勤している桑名千尋さんにお話を伺いました。

消防官になろうと思ったきっかけは？

大学4年の時、何気なくテレビをつける時消防署のドキュメンタリー番組を見ていました。多くの消防官が映し出される中に、女性消防官を発見したので。それまで、消防という仕事のことも、ましてそこで女性が働いているということも知りませんでした。「大学卒業後は地

勤務は大変だと思いますが、採用されて9年目で消防署に配属になり、災害現場へ出勤しました。24時間勤務の2交替制ですが、前の部署で経験済みなので大変とは思いません。他の消防官の足を引っ張らないようにと心掛けていますが、筋力や体力面では男性よりも劣るのでカバーしてもらっていることがあります。

元で人の役に立つ仕事を」と考えていたので、消防官として働きたいという思いが強くなりました。

消防官への道のりは？

まずは、消防組合の採用試験に合格すること。採用後、消防学校で、消火活動の訓練など、半年間の研修を受けます。この訓練に耐えられなければ辞めなければなりません。さらに2カ月間救急業務の研修を受けます。これらの研修を終えて初めて災害現場で活動できます。



一人でも多くの人を救うため、ぜひ、救急救命士の資格を取りたいです。また、女性消防官が増えてほしいと思っています。そのためには消防組織の中の女性の利点を生かした消防官のあり方について考えていきたいですね。

どうしたら自分を活かせるかを模索する桑名さん。語られる言葉から真摯に努力する桑名さんの思いが伝わってきました。

東横山6区町内会長 松本 基さん(八出)

総務大臣表彰を受賞



昨年11月に東横山6区町内会長の松本基さんが「地縁による団体功労者総務大臣表彰」を受賞されました。松本さんは、昭和49年から町内会長を務められ、また津山市連合町内会福岡支部支部長と監事をされています。常に地域の先頭に立ち、市政に協力し市民福祉の向上に尽力されたことが認められたものです。

松本さんは「地元地域の先輩や後輩、福岡支部内の町内会長の支えのおかげ。皆さんの協力や支えがあってこそ本日が迎えられている。これからも支部一体となって頑張っていきたい」と今後の活動へ意欲を燃やされていました。